

例 言

- 1 本書は、独立行政法人国立文化財機構（2006 年度までは独立行政法人文化財研究所）奈良文化財研究所が、2005 年度から 2008 年度の 4 ヶ年にわたり、独立行政法人日本学術振興会から科学研究費補助金（基盤研究 A）の交付を受けて実施した「古代東アジアにおける造瓦技術の変遷と伝播に関する研究」（課題番号 17202022、研究代表者：毛利光俊彦・山崎信二）の成果報告書である。
- 2 本書には、2009 年 3 月 14 日（土）と 15 日（日）の両日、奈良文化財研究所平城宮跡資料館で開催した国際シンポジウム「古代東アジアにおける造瓦技術の変遷と伝播」の研究報告と総合討議を収録した。また、2008 年 3 月 26 日（水）と 27 日（木）に中国社会科学院考古研究所と奈良文化財研究所が北京市で共同開催した国際学術検討会「四～十世紀の中国の造瓦技術（中国語原題：四至十世紀東亜制瓦技術研究）」の報告資料を翻訳し、附載として収録している。
- 3 本研究における研究組織は以下のとおりである（所属は当該時点）。

研究代表者 毛利光俊彦 （奈良文化財研究所）2005 年度
 山崎 信二 （奈良文化財研究所）2006～2008 年度

研究分担者または連携研究者

亀田 修一 （岡山理科大学）
佐川 正敏 （東北学院大学）
花谷 浩 （奈良文化財研究所）
小澤 毅 （奈良文化財研究所）
今井 晃樹 （奈良文化財研究所）
林 正憲 （奈良文化財研究所）
中川 あや （奈良文化財研究所）
高田 貫太 （奈良文化財研究所）

研究協力者 安 家 瑤 （中国社会科学院考古研究所）
 朱 岩 石 （中国社会科学院考古研究所）
 金 誠 龜 （韓国国立中央博物館）
 金 有 植 （韓国国立扶餘博物館）
 石田由紀子 （奈良文化財研究所）

- 4 拓影・実測図は、1/4 の縮尺を原則とし、これと異なる場合は縮尺を明示した。
- 5 本書の編集は、小澤 毅と今井晃樹が担当し、中国語の翻訳は今井がおこなった。韓国語の翻訳は梁淙鉉氏（帝塚山大学大学院生）に依頼し、高田貫太が監修した。